

# 寺報

No.677

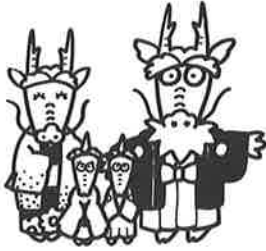
令和6年1月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

今、正月の始めに法華經を供養  
しまいらせんとおぼしめす御心は  
木より花のさき、池より蓮のつぼ  
み、雪山の梅檀のひらけ、月の始  
めて出るなるべし。

『重須殿女房御返事』



### (解説)

お正月は日の始まり、月の始まり、年の始まり、  
そして季節の始まりです。

この新春の喜びの中で、法華經・お題目を唱え、神  
仏に供養のまことを捧げたいと思います。

皆様も身も心も晴れやかに、今年も日蓮大聖人のお  
弟子として、一年間精進していく事をお誓いして下  
さい。

この心は、たとえば枯れ木に花が咲くように新鮮で  
あり、泥の中に埋もれていた蓮華がつぼみをふくら  
ませるように清浄であり、また良い香を放つ『梅  
檀』という香木が、ヒマラヤ山脈の雪山に花を開き、  
更に闇夜に月が輝くような不可思議なものとなるの  
です。

皆様がこのお正月に神仏に誓われた心情を、いつも  
忘れずに、法華經・お題目の信仰を続けられたらこ  
の世は素晴らしい所になるでしょう。

どうか、日蓮大聖人の御教えを心の支えとして、今  
年も前向きに信仰していきましょう。

### 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

本年も檀信徒の皆様には、『廣布山 蓮華寺』をよろしくお願い致します。

さて、皆様もすでにご存知のように、宗教とは【世界の平和】と【人類の救済】を願う事が目的となっております。

ですから、世界で続けられています宗教間での争いや日本でも常識を逸脱した信仰集団が問題を起こしている事などは、宗教界全体にとっても非常に残念な事であります。

仏教の教えの根本は、『慈悲の心』です。人を傷つけたり、欲で人を苦しめたりする事は、禁じられています。

今一度、皆様が宗教とは何なのかを見つめ直していかなければなりません。

今皆様が信じている宗教が、何故この世に出たのか、宗祖といわれる方はどういう方なのか、また歴史上の中でどのような布教・指導をしてきたのか、更に信じ

る御本尊がすっかり定められているか、正しい教義理論があるのか、このような事を我々は知っておくべきだと思います。

『苦しい時の神頼み』ですが宗教で良いのか、その宗教に本当に救いがあるのか、これらを知る事もなくただ飛びつくようでは後々困るのです。

いわゆる、独り合点の判断こそが、身を破る元となります。

最近、何の宗教・宗派でも良いとか、おいしい話に勧誘されたとか、何も信じる事が出来ない無宗教とかいう人達が増えつつあります。

日蓮大聖人は「末法には仏法が乱れ邪法がはびこる、従って正法を立て国家を安ぜよ」と【立正安国論】に教えられています。

我々は新しい年を迎え、日蓮大聖人のみ教えを信じ、常に法華経・お題目を唱え、日蓮宗の檀信徒である事に誇りを持って生きていく事が大切なのです。

どうか、世の中がいかように変わろうとも、我々は迷わず安心して生きていけるのだと堅く信じていこうではありませんか。

### 唱題行（寒修行）に

#### 参加しましょう！

日蓮大聖人は伊豆流罪の時「法華経の明鏡に照らして、今の自分の身の上を考えると、過去に謗法（法華経を非難する）の罪を犯した事は明らかである。

その重罪を今生に償わなければ、未来に地獄の苦を免れる事は出来ない。

しかし償う事によって未来に仏になる事は大変喜ばしい。」と申されました。

仏教では、今の自分の置かれている状態は、過去世の因縁から来るものであると説いています。

ですからこれが悪因縁ならば、自らが立ち切り、懺悔（反省）し、次世代まで絶対持ち越さないようにしていかなければなりません。

日蓮大聖人は、それには『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えるしか解決方法はないといっています。

どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。

### 一月十六日（火）～二十四日（水）迄（九日間）

#### 午後七時より一時間（小本堂）

#### 次第

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」 【4ページ】
- 開経偈「無上甚深微妙の」 【6ページ】
- 読経「如来寿量品第十六」 【13ページ】
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病」 【47ページ】
- 御妙判「祈 禱 鈔」 【67ページ】
- 御題目「南無妙法蓮華経」 【72ページ】
- 宝塔偈「此経難持」 【72ページ】
- 回向文「導師が唱えます」 【76ページ】
- 四誓願「誓って南無妙法」 【77ページ】
- 三整唱「なむめう」 【77ページ】
- 弾指合掌（祈りを込めます）

②なお「寒修行」ですので、暖房は致しませんので、各自防寒の用意をして来て下さい。

全員イス席での修行となります。

持参品：聖典・数珠・団扇太鼓（所有の者）  
③当山勤務の僧侶が減った為に、二十日（土）の大寒を前後に九日間のみの修行となります。

# 節分会のお知らせ

## 二月三日(土)

午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成十二年生れ
	数え四十二歳	昭和五十八年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成十八年生れ
	数え三十三歳	平成四年生れ

昭和三年・十五年・二十七年  
三十九年・五十一年・六十三年生れ  
平成十二年・二十四年生れ  
令和六年生れ

その他  
・前厄・後厄(厄年の前後)

- ・還暦(六十一歳)・古稀(七十歳)
  - ・喜寿(七十七歳)・傘寿(八十歳)
  - ・米寿(八十八歳)・卒寿(九十歳)
  - ・白寿(九十九歳)
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。



★厄払い・三千五百円

- ◎豆まき ◎祈願読上げ
- ◎ご祈祷 ◎厄札 ◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

① 本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。

★一般祈願・千円(◎節分札◎祈願読上げ)

### 追膳は元旦より八日まで お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自『お供え餅』を上げるかまたお寺に注文し上げてもらって下さい。(五百円)

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

### 檀信徒研修会は三月まで お休みです

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

### 『提灯』の募集

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

## 各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、令和五年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トロー代(提灯)』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いずれも加名者の方のみをお願いしています。

なお令和六年度分も、よろしくお願い致します。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

## 『位牌壇』募集!

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

## 『聖徒団会員』募集!

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

## 『霊断』

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

# 教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

現在、教宣部が主体となり、以前活動していましたが【伝道部】【奉仕部】の仕事も行っていきます。

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いの必要があり、沢山の方々のご奉仕を戴きまして継続出来ていきます。

昨年度も「年中行事」の他に、春と秋のお彼岸また夏のお盆の「追膳」のお手伝い、更に「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

また伝道活動におきましても、檀信徒の皆様への修行として行われています。一月六日～二月二日までの二十八日間の『寒修行』、更に四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』も無事成功の内に終える事が出来ました。

その他「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸し出しもしていますので、どうぞご利用下さい。どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為・先祖の為・

自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。

また、部員でなくとも【蓮華寺】の為に協力戴ける方は、まずご遠慮なさらずにお手伝いをよろしくお願い致します。

どうか今年も頑張つて奉仕活動をしていきましょう。

## 教宣部員募集中！

\*詳細は事務所まで

## お知らせ

当山に勤務していました役僧の『角田堯悠』が、一身上の都合により、突然退職しました。

よつて当山は、住職と役僧三人となりました。

ですから、今後多忙が懸念され、お寺の仕事・行事等に影響が出てくると思いますので、どうかご了承下さい。

まず一月は「寒修行」を大寒をはさみ、九日間のみ行う予定です。

## 寒修行（唱題行）

一月十六日（火）～一月二十四日（水） 【九日間】

午後七時～午後八時迄 於：小本堂

## ☆奉仕のお知らせ

令和五年十二月

三十一日（日）元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

\*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願い致します。

令和六年一月

三日（水）元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

\*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、当日時間までお集まり下さい。

◎教宣部長・杉淵 昌三



一 日（月）元旦祝祷会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典（お経本）を最初から順にゆつくり読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要はこの時間のみです。

①一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

☆この日は、当山開基「日持上人」のご命日ですので法要の中でご回向させて戴きます。

一 日（月）甲子【大黒様の日】 元旦祝祷会中

十三日（土）日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一（日本語読み）  
如来寿量品第十六（漢字読み）

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を一緒に唱えましょう。

②『十三日のお勤め』のお経練習用の（CD・お経本）は事務所にてお求め下さい。

# せつ ぶん え 節 分 会

二月三日(土)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

\* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受け付けます。

② 豆まきを行いますのは、年男・年女としおとこ としおんな たつとし(辰年)

やくとし 厄年・その他本年度ご祈祷希望者の方となります。